

AgriLook

アグリルックは、効率的に高品質な「米」を安定的に生産するための人工衛星を利用した農業ITシステムで効率的な精密農業を実現します。

システムの概要

人工衛星・気象データからのタイムリーな情報や集計された記録を活用し、年間を通じて、圃場の「今」を把握します。

衛星データ・気象データを利用して圃場単位の葉色マップ、食味マップを作成して施肥管理、病虫害・気象災害対策、区分収穫などに利用することにより、時系列的・空間的栽培管理を実現します。



- ▶ 常時利用可能
- ▶ 利用者ごとに営農管理が可能
- ▶ 予測結果は毎日自動更新
- ▶ データのCSV出力可能
- ▶ 他システムとのデータ連携も可能
- ▶ スマホ・タブレットでも利用可能



コンテンツ

生育・障害予測

- ▶ 水稻・小麦・大豆生育予測
- ▶ 水稻高温障害予測
- ▶ 大豆灌水支援機能

予測マップ

- ▶ 葉色マップ
- ▶ タンパクマップ
- ▶ 刈取適期マップ
- ▶ 土壌水分マップ

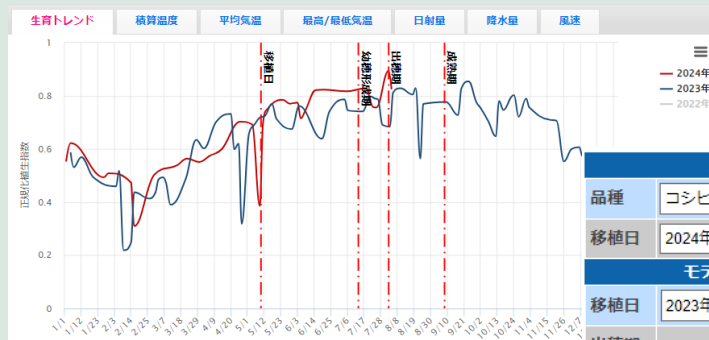
その他機能

- ▶ 水張圃場の判定
- ▶ 耕作放棄地の判定
- ▶ 生育調査データ登録
- ▶ 他システムデータ取り込み

圃場ごとの生育トレンド・発育予測

毎日観測されている衛星データから、旬単位に生育状況の画像を作成し、画像表示、任意の地点の生育変化グラフ表示が可能です。

- 他年度の生育状況のグラフを併せて表示することにより、年度間の生育の推移の比較が可能です。
- 品種、移植日を入力することにより、幼穂形成期・出穂期・成熟期の予測が可能です。（過去データを利用したモデル調整機能）
- 毎日の気象情報により、出穂期・成熟期の予測日は更新されます。



AgriLookのコンテンツの一部は、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）で構築された農業データ連携基盤

（WAGRI）の発育予測API、気象APIおよび筆ポリゴンAPIを利用しています。

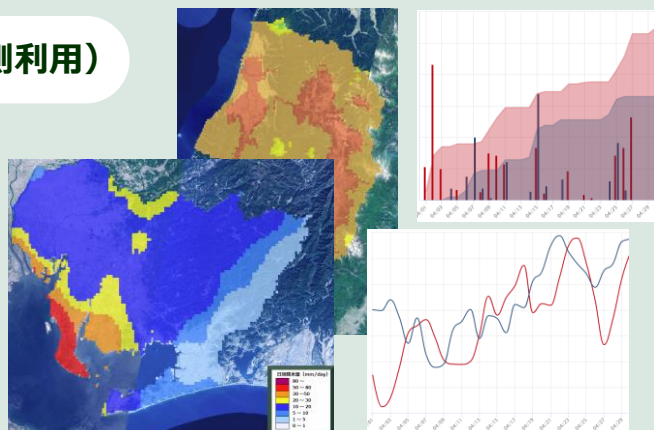


気象データ（メッシュ・グラフ・各種予測利用）

気温（日平均、最高、最低）・降水量・風速・日射量をマップに1kmメッシュで提供致します。気象データはグラフ上に表示して過去と比較する事はもちろん、出穂日など任意の日からの積算気温を計測する事も簡単に行えます。

また、発育予測と気象データを組み合わせ高温障害や病害虫の注意情報をマップ提供致します。

データをCSVファイル形式で出力する事も可能です。



各種予測マップ

葉色予測マップ：衛星画像を使用して約10日後の圃場ごとの葉色（推定SPAD）値をカラー表示します。

食味推定マップ：刈り入れ前の衛星画像を使用し、食味の予測マップ（玄米蛋白含有率）をカラー表示します。

水張確認マップ：衛星画像を使用して水張が行われた圃場を判別し信頼度別にカラー表示します。

作物分類マップ：衛星画像を使用して圃場の作物（水稻・小麦・大豆など）を判別してカラー表示します。

